

授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
共通学芸科目

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 93%で、多くのクラスで「そう思う」が最多の選択率であった。
・ 春学期同様、担当者や科目による評点分布の大きな差異や傾向は見られなかった。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 85%であった。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 76%であり、春学期と比べて約 6 ポイント下がった。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 76%であった。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 65%であり、春学期と比べて約 7 ポイント上昇した。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 86%であった。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が 60%と、春学期と比べて約 6 ポイント上昇した。
・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
・ 「パワーポイント等」の選択率が 16.0%で最多で、次に「話し方」が 7.3%であった。
・ 選択の傾向は例年と同様であり、とくに際立った特徴は見当たらない。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
・ 「30 分未満」という回答が 75.6%で、次いで「30 分以上 1 時間未満」の回答が 15.9%であった。
・ 授業時間外学習時間の時間換算期待値は 0.48 と、スポーツ健康科目、キリスト教・同志社関係科目に次いで少なかった。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）が約 54%であった。
・ 評点平均値は、キリスト教・同志社関係科目に次いで低い結果となっている。
・ 「わからない」という回答も 12.2%見られた。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 77%であった。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 「授業内容」の選択率が 65.4%と、最も多かった。・ 「先輩・友人の勧め」の選択率が 11.8%で、例年同様に、他の科目区分と比較して高かった。 |
|--|

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 83%であった。 ・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
・ 肯定的な評価（そう思う・ややそう思う）の合計が約 78%であった。 ・ 「わからない」という回答も 10.7%見られ、他の科目区分と比べて多めであった。 ・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
・ 「思考力」が 52.5%と最も多く、次いで「分析力」33.6%、「創造力」16.9%と、例年通りの結果であった。 ・ 担当者や科目により、評点分布に差異が見られた。

(4) その他

概ね、例年通りの結果と言えるだろうが、肯定的な評価が多くなってきている。 双方向性、フィードバック、自主学習促進工夫、授業時間外学習時間、積極的態度等の項目において、低い結果が続いており、対応を検討する必要もあるように思われる。
--